

バイブルスタディ Pastor JD Farag 2018. 10. 21  
ピリピ人への手紙 1:7-11 「なぜ『祈り』がまだ答えられないままなのか」

では、今日もまたピリピ人への手紙 1 章 7 節-11 節を見ていきます。

使徒パウロが聖霊によって書いています。

**7 あなた方すべてについて、私がこのように考えるのは正しいことです。**

あなたがたはみな、私が投獄されているときも、福音を弁明し立証しているときも、私とともに恵みにあずかった人たちであり、そのようなあなたがたを私は心に留めているからです。

**8 私がキリスト・イエスの愛の心をもって、どんなにあなたがたすべてを慕っているか、その証しをしてくださるのは神です。**

**9 私はこう祈っています。あなたがたの愛が、知識とあらゆる識別力によって、いよいよ豊かになり、**

**10 あなたがたが、大切なことを見分けることができますように。**

こうしてあなたがたが、キリストの日に備えて、純真で非難されるところのない者となり、

**11 イエス・キリストによって与えられる義の実に満たされて、神の栄光と誉れが現されますように。**

一緒に祈りましょう。

愛する天のお父様、あなたと、今日学ぶあなたの御言葉に心から感謝します。

それが、私たちがここにいる理由です。

私たちが直面する課題に関連して、あなたが人生に語りかけて下さるのを聞きたいのです。

主よ、この時間、いつもして下さるように、あなただけにできる形で語りかけて下さい。

しもべは聴いています。

イエス様の御名で祈ります。アーメン。

今日は、祈りと私の祈りの人生に関して、長年不可解に感じてきたことについてお話したいと思います。

もっと具体的に言いますと、祈りが応えられないように思える時、またその理由についてです。

そのために、関連している事柄を検証しながら、聖句を見ていこうと思います。

恐らくもっと大切なのは、なぜ、使徒パウロはピリピ人のために、あのよう祈っているのかという事です。

“祈りは物事を変える”と聞いたことがあるでしょう。

確かにそれは真実ですが、しかし、祈りはそれ以上のもので、物事を変えるだけでなく私たちを変えます。

そして、祈りは私たちを変えるだけでなく、私たちの見方や人への接し方まで変えるのです。

それが、今日お話したいことです。

パウロが絶えず彼らのために祈っていたということから、この箇所が目にとまることは、明らかに彼がピリピ人に非常に深く気を配っていたということです。

彼らに手紙を書いた時の、パウロの感情が分かるでしょうか？

「神が私の証人です。」と言っているのですよ。

「私の心がどれほどあなたたちを慕っているか、神ご自身が証して下さる！」と。

神はあなたの心を知っている。人はうわべだけを見るが、神は心を見る。

「神は、私のあなたたちへの思いを知っているんだ。」

これはもう、彼がピリピ人を慕い、彼らのために心を痛めているという感じです。

なぜなら、彼らへの祈りのゆえに、パウロは確かにピリピ人を愛していたから。

私がこれを強調する理由は、それは私たちが祈る時に、まさしく起こることだからです。

祈りは、祈っている相手に対する感情を変えるのです。

7 節に注目して下さい。

パウロは強い感情を表現して、「投獄されているにも拘わらず、心であなた方を慕っている！」と言っています。

いつも彼らのことを考えており、その心は彼らと共にあり、彼らを慕っていた。

私は正直にならないといけません。

もし、私がパウロのようにローマで投獄されていたなら、きっと皆さんのことは考えていないでしょう。悪いけど。

私たちは教会にいるのだから正直になるべきで、だから率直に言いますと、私は心で皆さんのことを思わず、牢から解放されるのを待ち焦がれるでしょう。

しかし、パウロは違います。

私は今朝考えていました。実際、今日来る前にそれを見ていたのですが、Iテサロニケ1章です。

間違っているかもしれませんが、きっと合っていると思います。

その箇所は実際、パウロがピリピで投獄されている時にピリピ教会宛に書かれたもので、基本的にこう言って彼らを心配しています。

「私はあなた方を、幼い子を育てる母親のように気にかけている。」

なんと言うことでしょう！

男性たち、奥さんが子供に授乳する時、その美しさは何にも比べられません。

パウロは教会に対して、そのように感じていると言っているのです。

それが私の心を突き刺しました。

なぜなら、私は自分自身に、特に牧師として、「なぜパウロは、これほどまでに教会を愛することができたのか。」という疑問を投げかけるからです。

彼は本当にピリピ教会を愛していました。こんなにも。

**8 私がキリスト・イエスの愛の心をもって、どんなにあなたがたすべてを慕っているか、その証しをしてくださるのは神です。**

言い換えると、パウロの彼らへの愛情、慈しみ、愛は、イエスが私たちを愛する愛情と同じであるということ。お願いですから、パウロが教会として彼らを愛したのと同じように愛することを私に求めないで下さい。

「皆さんを愛しています。」と私が言う時に、皆さんに知って欲しいと願い、告白しなければならないのは、「私は、母親が幼子を育てるほどには愛していない。」申し訳ないですが。それが愛です。

どのようにして、パウロは彼らをあんなにも愛せたのか。

答えは、彼らのことをそれほど祈っていたから。

パウロは確かにピリピ教会を愛していたから、彼らのために祈りました。

でも、私の心を打ったのは、逆もまた同じで、パウロの彼らへの祈りによって、彼らに対する愛が来ていたことです。

彼らのために祈れば祈るほど、彼らへの愛が溢れました。

**9 私はこう祈っています。あなたがたの愛が、知識とあらゆる識別力によって、いよいよ豊かになり**

**10 あなたがたが、大切なことを見分けることができますように。**

**こうしてあなたがたが、キリストの日に備えて、純真で非難されるところのない者となり、**

これは興味深いですね。ヨハネが言ったことを思い出します。

**キリストにこの望みを置いている者はみな、キリストが清い方であるように、自分を清くします。**

**(Iヨハネ 3:3)**

そして最後にこう祈っています。

**11 イエス・キリストによって与えられる義の実に満たされて、神の栄光と誉れが現されますように。**

ここで私が言いたいのは、私たちの多くが、対人関係で争いばかりになってしまう主な理由についてです。

私が考える人間関係での争いが絶えない主な理由は、“彼らのために祈らず、彼らに怒っていること”

結婚関係を例にしましょう。

夫婦が互いのために祈る代わりに、互いに怒ったままです。

あなたが祈っている相手に対して、怒ったままではできないという事に気づいたことがありますか？

もしかしたら、張り切って祈り始めるかもしれませんね。

実際、ダビデが祈ったようにし始めるかもしれません。「神よ、彼を殺して下さい!!」

違う。違いますよ。神はこの祈りには応えないと約束します。いいですか。

あなたは祈っている相手に、怒ったままではできないのです。

それには訳があります。知りたいですか？

それは、神が私たちがそのように造ったから。

私たちが内側から変えるのです。もはや、彼らに対して怒らなくなる。

なぜなら、彼らのために祈る時、神が彼らへの愛を与えて下さるから。

これが、祈る時に起こることです。

彼らのために時間をかけることで、彼らに対する私たちの心が変わるのです。

結婚関係を例に出した理由は、夫婦間での争いがあるからです。

夫を見下したことがありますか？

私が夫を取り上げる訳は、あなたの隣にいる男性と同じように、私も間違いを犯していたからです。

とにかく争いがある、激しい交わり／争い／口論／ノックダウンして引きずり下ろしている時、ある牧師の言葉を借りれば、それを争いではなく“激しいフェローシップ”と呼ぶのですが。

思い出したことをシェアしたいと思います。

これがとても面白いのですが、話すのは久しぶりでしょう。

ある夫が、「日が沈むまで怒りを抱いていたことはない」と自慢していました。

「夫婦が怒っている時、たとえ夜中の2時まで寝ずに起きていなきゃならないにしても、怒ったままベッドには入らないよ。絶対に妻は這いつくばって言うんだから。『ベッドの下から出て来なさい！この臆病者!!』」

私もこの人のような人でした。

実際、私と妻は何年も前に、「疲れている夜に、重い問題を話し合うことは2度としない」と決めました。

それをすると、大きな争いに発展する傾向にあるからです。

いつも朝まで待って、夜は良い睡眠を取って、新鮮な気持ちになる。

神の憐みは朝ごとに新しい。

そして、まず神を求め祈ります。それが、全ての状態を変えるのです。

事実いつも起こる事は、翌朝起きた時に、「昨日の言い合いは何だったっけ？」「ああ、歯磨き粉のふたの事だよ。」

「ああ、そうだった。それが原因だったわ。」

私たちがその人のために祈ることを選ぶなら、その人に対する自分の心が変わるのです。

神が私たちがそのように造られました。

私が“選ぶ”という言葉を使うのは、彼らへの感情を抑えて、その人のために祈ることを選ぶ決心をするのは、私たちの責任だからです。

私たちがそうするなら、全てが変わります。

もしかすると、あなたはこう祈り始めるかもしれません。「主よ、彼らをしゅ、しゅ…祝福して下さい…」

初めはこんな感じかもしれませんが、しばらくすると、「主よ、彼らを祝福して下さい。祝福して下さい！」になるのです。

あなたは彼らに神の祝福を宣言する。

すると何が起こるか。

神があなたを祝福します。神があなたを変えるのです。

オズワルド・チェンバーズが以前言っていたことだと思いますが、今日ここにいる誰かのための言葉かもしれません。

“大事なことは、あなたが不当な扱いを受けているかどうかではなく、あなたは間違いを犯したことがあるかということだ。”

神はこの言葉を私の人生に、特に結婚生活の中に力強く働かせました。

皆さんご存知の通り、私たちは来月、結婚して 30 年になるのですが、完璧な結婚生活を送っています。

なので、私にとって、これは全て空想上の話なのですが。

結婚当初、私の祈りは基本的に「おお、神よ、彼女が間違っていることを示して下さい。」という感じでした。

あたかも神が天で、「彼女が間違っているって知ってたよ！ 分かったよ、今やっているよ JD！ すぐにやるから。」と言っているかのように。

でも、神が言っているのは、もっとこんな感じです。「彼女が間違っていると彼女に示して欲しいって？」

数か月前、棚を開けた時に見つけました。どこから来たのか分かりませんが。

これについて、マック牧師と話す必要がありますね。

丸太棒です。こう書いてあるんですよ。「話す前に、目から取り除きなさい。マタイ 7 章」

これ、あなたの？ 私たちのため？ おお、私のため！

オッケー！ これについては後で話しましょう。

ということで、私は「主よ、彼女の目からチリを取り除いて下さい！」

神は「残念だけど、それはできない。まず初めに、あなたの目から丸太を取り除かないといけない。」痛っ！

ところで、私にはそれを証明できる傷跡があります。

### マタイ 5 章 43-45 節

最初に言っておくと、これは、怒っている相手のために祈ることを支持し、後押しする方法で、これがカギ、秘訣です。

**43 「あなたの隣人を愛し、あなたの敵を憎め」と言われていたのを、あなたがたは聞いています。**

**44 しかし、私はあなたがたに言います。自分の敵を愛し、**

そして、ここ。

**44 自分を迫害する者のために祈りなさい。**

**45 天におられるあなたがたの父の子どもになるためです。父はご自分の太陽を悪人にも善人にも昇らせ、正しい者にも正しくない者にも雨を降らせてくださるからです。**

「本気で？」はい。「自分の敵のために祈る？」そうです。「自分の敵を愛するだって？」その通り。

正直になりましょう。教会にいるのですから。

「悪いけど、それは簡単にできることではないよ。彼らが嫌いなんだ。」

「彼らを愛したくなんかない。」「絶対に、彼らのためには祈らない。」

しかし、あなたが彼らのために祈るなら、あなたは彼らを愛します。

そのように働くのです。神が私たちをそのように造ったのですから。

これもまた何年も前の話ですが、私たちが不完全な結婚生活を送っていた時、妻が言いました。

「あなたを愛しているけど、今は好きじゃない！」

彼女がその時私を愛するなら、私は彼女を愛するでしょう。

でも、「今は好きじゃない。本当は、今は嫌いよ！ 愛してるけど大嫌い！」

「OK…」、そして私が祈る事を選ぶなら、嫌悪感は消えていきます。

なぜなら、再度言いますが、祈っている相手に対して、怒ったままでいることはできないから。

神が私たちをそのように造りました。

応えられない祈りという問題について、残りの時間、一緒に見ていきましょう。

私は、「祈っても何も起こらない。」「あなたが祈ったら、神は力強い御手を動かして全てを、あなたを変えるのかもしれないけど、私が祈っても、その祈りは天井から跳ね返って来るようだったわ。」と言う人たちがいる事を痛感しました。

私は何年もの間、“なぜ祈りが応えられないままなのか”に関する 7 つの大きな理由について、見たことを一つのリストにまとめるような作業をしてきたので、それを皆さんにシェアしたいと思います。

これは、絶対でも特別な順序でもありませんよ。

1 つ目の理由は、まさしく夫に向けてのことです。

妻の皆さんは夫を肘で突かないように。夫の皆さん、後で話しましょう。

祈りが応えられない原因は、夫が妻に正しく接していないことだと言えます。

**I ペテロ 3 章 7 節** この箇所は今日までも、私の心を探り、正します。

**同じように、夫たちよ、妻が自分より弱い器であることを理解して妻とともに暮らしなさい。**

これは身体的なこと。女性の方が霊的に劣っているとか、他のことではなくて、身体的なことを言っています。

**また、いのちの恵みをもとに受け継ぐ者として尊敬しなさい。**

**そうすれば、(よく聞いて下さい) あなたがたの祈りは妨げられません。**

では、逆にして考えてみましょう。これは聖句をより理解するために、私がいつもすることです。

ペテロは「妻への接し方が、自分の祈りを妨げる可能性がある」と言っているのです。

とすれば、原語ではとても興味深い言葉ですが、他の訳が表しているように、私が妻に対して尊敬を持って接し、共に暮らし、理解し、思いやりを持って愛するならば、私の祈りは聞かれる。そうです！ その通り！

それを証明するための傷跡について話しましょう。私には、その傷跡がたくさんあります。

私は何度も何度も御座に訴えようとしてしました。

すると、聖霊が小さな優しい声で語るのです。「すぐに止めなさい。」「それ以上は止めなさい。」

「あなたの祈りに応えたくないと言っているのではなくて、あなたの妻への接し方のために、祈りに応えることができないんだ。」

「あなたが、まず正しい事をしてから戻って来なさい。それから、また話をしよう。それまではできない。祈りに応えることはできない。」「あなたが正しい事をしなければならぬのだよ。」

思い出すが、シャロン牧師のことです。

彼は日曜日の朝はいつも、早くに家を出るのです。奥さんが起きる前に。

そうすれば、メッセージする前にケンカになることはないから。

言っておきますが、敵はすぐそばにいますよ。タイミングが全てです。そうでしょ。

敵がこれ以上に好む事はありません。

この講壇の後ろに立つ事は私の特権ではあるけど、今日のように結婚について話す時は尚更、敵が好むタイミングです。

私が出かけようとする、妻が言い出します。

「ねえ、私、毎週日曜日の講壇の後ろにいる人と結婚したんだと思いたいわ。」「……」

何年も前に本土にいた時のこと、私たちは不完全な結婚生活を送っていて、妻が長老の一人にこう言いました。

「この講壇を家に持って行きたいの。これを積み込めますか？」

彼女は私が聞こえる所で言ったのですよ。私がすぐ近くにいるのを知ってて。

男性方、私は意味がよく分からなくて、「なんで、講壇なんて欲しいの？」

「だって、教会のこの講壇の後ろに立っている男性に、家にいてもらいたいの。」「……」

だから、私の祈りが天上で跳ね返ってくるのか！

罪の告白をし過ぎましたね。2 つ目の理由に行きましょう。



祈りが応えられない2つ目の理由は、祈り求めているため。

当たり前すぎると思うかもしれませんが、これは、言うまでもなくヤコブが書いていることです。

**自分のものにならないのは、あなたがたが（神に）求めないからです。（ヤコブ 4:2b）**

今までに、「神は既に、私に必要なものを知っているのに、なぜ祈らないといけないのか。」と誰かが、もしくは、あなた自身が言うのを聞いたことがありますか？

祈りは、神に話して何かを得るということではなく、祈ることでああなたの心が変わるから祈る必要があるのです。祈りはあなたを変えます。

ところで取上げて言いますが、最大の罪の一つ、強調して言いますが、今日の教会の最大の罪の一つは、祈りを複雑にしてしまったことです！

一度シェアした事がありますが、EM バウンズが祈りに関して膨大な、こんなに分厚い祈りの本を出しています。私が読み始めると聖霊が「おい。」聖霊は私にこんな言い方はしませんが。

「この本を読む時間で、どれだけ祈ることができるか分からないのか？」それで私は祈りました。

その本は未だに本棚に鎮座しています。

祈りとは、神とシンプルに話すこと。それが祈りです。

どうか、敵によって複雑にさせられないで下さい。

ただ、天のお父様と話をして下さい。それが祈りの全てです。

お父様にお願いするのです。求めるのです。

祈りが応えられない3つ目の理由は、願う時の動機が間違っているか、動機自体が自己本位であるから。

**求めても得られないのは、自分の快樂のために使おうと、悪い動機で求めるからです。（ヤコブ 4:3）**

キリストにあって成熟し、恵みに於いて成長してくると、神が祈りに応えなかったことに、本当に感謝するようになります。

もし応えられていたら、恐ろしいことになっていたはずだから…

私は約 20 年間の祈りのリストを保存しているのですが、神がして下さったことを見るのは大変興味深いです。それを見返すと、たくさんある祈りのいくつかは、畏れ多く、恥ずかしくて打ちのめされてしまいます。

「ああ、神様、自分自身の行いが分かります。これを削除して下さい！それを捨てて下さい！応えないで下さい！」なぜなら、その祈り方で神が応えて下さっていたなら…（ため息）

4つ目の理由は一番大きな理由で、祈っていることが神の御心ではないから。

**何事でも神のみこころにしたがって願うなら、神は聞いてくださるといこと、これこそ神に対して私たちが抱いている確信です。（Iヨハネ 5:14）**

確信、私はこの言葉が好きです。あなたは確信して、大胆に祈ることができます。

**私たちが願うことは何でも神が聞いてくださると分かるなら、私たちは、神に願い求めたことをすでに手にしていると分かります。（Iヨハネ 5:15）**

ステキ！「♪主よ、私にベントを～♪」

なぜ、ベントが与えられないのか。それは、神の御心ではないからです。

と言っても、良いものを持つのがいけないという意味ではありませんよ。それに支配されない限りは。

ただそれは、あなたの人生に於いて神の御心ではないのです。

だから、代わりにヒュンダイを持っているのです。

神の御心ではないということ。

祈りが応えられない5つ目の理由は、神のタイミングではないから。

これは難しいことです。

ある意味、神は祈りにいつでも応えて下さると言えますが、ただ、あなたがその応えを気に入らないだけ。

その応えはいつも「はい」か「いいえ」もしくは「待て」

私は大抵、「いいえ」は受け入れられます。

でも、「待て」と言われる時は…私は待つことが大嫌いなんです。

**それゆえ主は、あなたがたに恵みを与えようとして待ち、それゆえ、あわれみを与えようと立ち上がられる。主が義の神であるからだ。(イザヤ 30:18)**

そんなこと、考えたことがありましたか？ 興味深いですね。

神が遅らせているのは、拒否しているからではありません。

かえって、あなたを憐れもう、恵もうと思って遅らせておられるのです。

時に私たちの祈りは小さすぎ、ちっぽけすぎます。

神は「本当に？ 今これを与えて欲しいの？ わたしはこっちを与えたいのに。」

「あなたが待てるのなら、もっと良いものを与えるのだよ。」

こんな言葉があります。

“もしタイミングが間違っているなら、神は「ゆっくりしなさい」と言われます。

自分が間違っているなら、神は「成長しなさい」と言われます。

要望が間違っているなら、神は「ダメだ」と言われます。

でも、自分が正しく、タイミングが正しく、要望が正しいなら、神は「さあ、いいよ！」と言われます。”

時としてそれは、ただタイミングの問題で、それが、祈りが応えられない6つ目の理由に繋がります。

6つ目は非常に興味深い理由で、忍耐力の欠如のために早急に諦めてしまうから。

ルカ 18 章でイエスは、相手を訴え、申し開きをするのを決して諦めない、しつこいやもめを例えて話し、忍耐について教えています。

最終的に、この不正な裁判官は、正しい審判をされる神とは比べられませんが、**「このやもめは、うるさくて仕方がないから、彼女のために裁判をしてやることにしよう。そうでないと、ひっきりなしにやって来て、私は疲れ果ててしまう。」(ルカ 18:5)**

この例えのポイントは、**いつでも祈るべきで、失望してはいけないことを教えるために、イエスは弟子たちにたとえを話された。(ルカ 18:1)**

補足で言わせてもらおうと、これは全くの真実です。

放蕩息子や放蕩娘を決して、決して、決して、決して、決して諦めないで下さい。

絶対に諦めないで祈り続けるのです。

**失望せずに善を(祈ることも)行いましょう。**

**あきらめずに続ければ、時が来て刈り取ることになります。(ガラテヤ 6:9)**

この間言ったことですが、放蕩息子や放蕩娘は祈る親には勝てません。

決して諦めないで！絶対に諦めないで！

神は息子や娘を、あなたが愛する以上に愛しておられるのです。

あなたの祈りは神の御心にかなっているのですよね。諦めないで。求めたものを得るのですから。

それを掴んで下さい。失望しないで。

では最後です。申し訳ないですが、締めくくりはこれです。

誰のことも“あぶり出す”つもりはありませんが、これが原因の場合があります。

祈りが応えられない7つ目の理由は、明らかに心の中の罪。

**詩篇 66 篇 18-19** これで締めくくる理由が分かります。

**18 もしも不義を 私が心の中に見出すなら 主は聞き入れてくださらない。**

これは、罪がないということではなく、日常の告白していない罪のこと。

もし罪を庇うなら、悪に関わり、心に罪を隠すなら、神は聞き入れることができない。

これは、神がされないのではなく、神にはできないのです。それは神のご性質に矛盾するから。

そして次がとても重要な理由で、ダビデが書いています。

**19 しかし 確かに神は聞き入れ 私の祈りの声に耳を傾けてくださった。**

これもまた、ひっくり返して考えるべき箇所です。

言い換えると、心に邪悪さがあるなら神は祈りを聞かれませんが、心に罪を抱かず、罪に関わらず、心に隠すことをしなければ、あなたは正しく清い心で神に近づき、神は祈りを聞かれます。

だから、清さはとてもパワフルなのです。

これは、多分ここにおられるどなたかへの言葉だと思いますが、サタンはいつもあなたを不純な方へ誘導します。あなたを清さではなく不純の中を歩ませられるなら、祈りによる強さをあなたから奪うことができる、とサタンは知っているから。

イエスは、敵が盗み、殺し、滅ぼすために来ると言いました。

サタンはあなたから祈りの確信を盗み、奪い、そうして私たちを滅ぼすのです。

これで締めくくることがをお赦し下さい。

祈りましょう。

天のお父様、ありがとうございます。

聖霊様が、今日の全ての学びを御言葉によって導いて下さいました。

今日聞いたことの全てを消化し、それぞれの人生に、祈りの生活に確実に適応できますように。

主よ、あなたがして下さい。私たちはそれを求めます。

イエス様の御名によって祈ります。アーメン。



**「きょう、もし御声を聞かならば、あなたがたの心をかたくなにしてはならない。」ヘブル 4:7**

メッセージ by JD Farag 牧師

カルバリーチャペルカネオへ <http://www.calvarychapelkaneohe.com/>

Calvary Chapel Kaneohe 47-525 Kamehameha Hwy. Kaneohe, Hawaii

筆記 Rumi